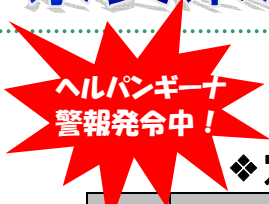


奈良県感染症情報

平成 26 年 第 29 週 (7 月 14 日 ~ 7 月 20 日)
 奈良県感染症情報センター (奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183



今週の概要

■ 定点把握(月報告)対象疾患報告状況(6月)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	ヘルパンギーナ	6.26	(6.21)	↑	↑	↑	↑
2	感染性胃腸炎	1.68	(2.12)	↓	↓	↓	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	1.15	(1.18)	→	→	→	→
4	水痘	0.94	(0.41)	→	↗	↓	↓
5	咽頭結膜熱	0.74	(0.97)	↘	↓	↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

◆ 県内概況 ◆

◆ ヘルパンギーナが大流行しています

- ヘルパンギーナが大流行しています。先週と比べほぼ横ばいとなり、ピークを迎えつつあるものと思われます。今週は郡山保健所管内、内吉野保健所管内でも警報レベルに達しました。患者は3歳代を中心に、5歳以下がほとんどとなっています。
- ヘルパンギーナは2~4日の潜伏期間のあと、突然の高熱、咽頭痛に続き、口の中に水疱ができる疾患です。コクサッキーウイルスが主な病原体で、無菌性髄膜炎を併発することもあるため注意が必要です。体調が回復しても、便からは1ヶ月程度ウイルス排出が続くため、排便後やおむつの交換後は、石けんによる手洗いやうがいを行うなど、基本的な感染予防対策を心掛けましょう。
- 咽頭結膜熱も例年より高いレベルで推移しており、昨年同時期と比べると、2倍以上の報告数です。

❖ お知らせ ❖ ~海外へ渡航される皆さまへ~

これから夏休みを迎えるにあたり、多くの方が海外へ渡航されると思います。その際に注意すべき感染症や予防対策について情報提供いたします。



- 出発前** 渡航先で推奨される予防接種があれば、接種しておく。(黄熱・A型肝炎・ポリオ・日本脳炎など)
- 旅行中** 生水や氷、カットフルーツを避け、十分火の通ったものを食べる。(A型肝炎・コレラ) 蚊やダニに刺されないよう、虫除け剤を使う。(デング熱・SFTS) 動物にはできるだけ近寄らない。(狂犬病・鳥インフルエンザ)
- 帰国後** 具合が悪いと感じたら、最寄りの検疫所やかかりつけ医に相談する。潜伏期間が長いものもあるため、しばらく様子を見る。(マラリアは1ヶ月、E型肝炎は40日を超えることもある)

<参考>

海外で注意しなければいけない感染症

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel/dl/2014summer_00.pdf

海外渡航のためのワクチン

<http://www.forth.go.jp/useful/vaccination.html>

外務省 渡航関連情報

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 29 週 7 月 14 日 ~ 20 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ								
小児科定点数	35	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	1 (0.03)				1 (0.14)			
咽頭結膜熱	25 (0.74)		5 (0.50)	5 (0.71)	15 (2.14)			
A群溶連菌咽頭炎	39 (1.15)	16 (2.29)	8 (0.80)	4 (0.57)	9 (1.29)		2 (1.00)	
感染性胃腸炎	57 (1.68)	6 (0.86)	21 (2.10)	5 (0.71)	25 (3.57)			
水痘	32 (0.94)	21 (3.00)	9 (0.90)		2 (0.29)			
手足口病	6 (0.18)	2 (0.29)		1 (0.14)	3 (0.43)			
伝染性紅斑								
突発性発しん	15 (0.44)	9 (1.29)		5 (0.71)	1 (0.14)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	213 (6.26)	49 (7.00)	66 (6.60)	52 (7.43)	34 (4.86)	6 (6.00)	6 (3.00)	
流行性耳下腺炎	8 (0.24)	2 (0.29)	3 (0.30)	2 (0.29)	1 (0.14)			
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.33)	1 (1.00)		1 (0.50)			1 (1.00)	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核 10件(奈良市 3、郡山 2、桜井 2、葛城 2、内吉野 1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	

❖ 第29週のトピックス ❖

◆パキスタン政府のポリオへの対応 (外務省)

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2014C251>

◆乳児における無菌性髄膜炎疑い患者等からのヒトパレコウイルス3型の検出 (IASR)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/981-disease-based/a/entero/idsc/iasr-in/4842-pr4141.html>

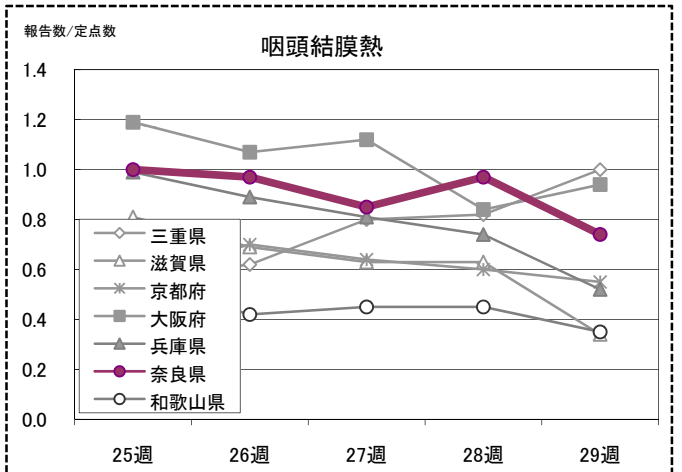
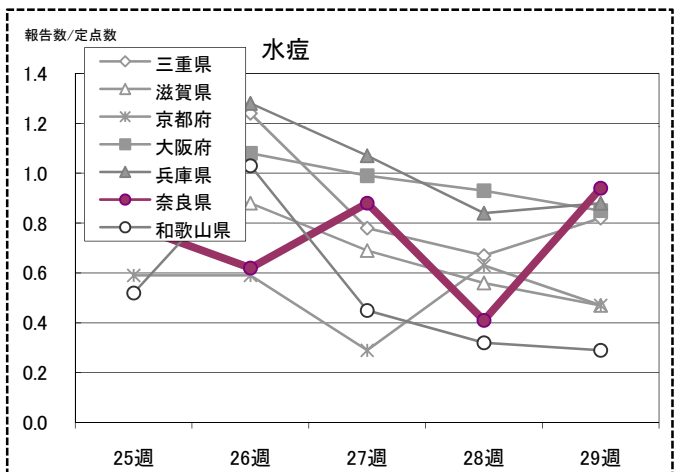
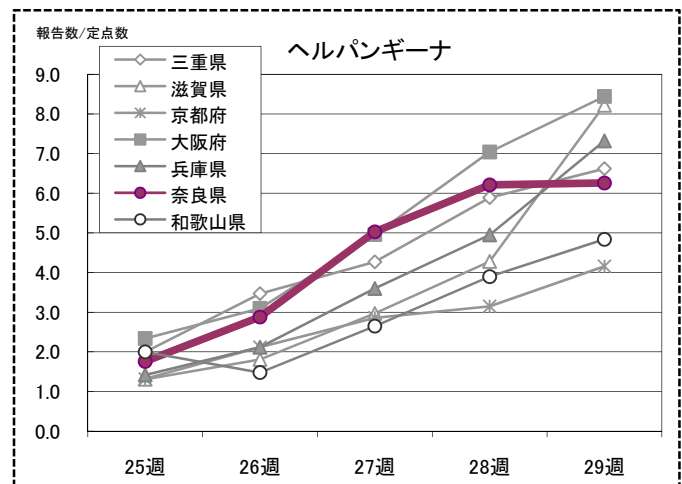
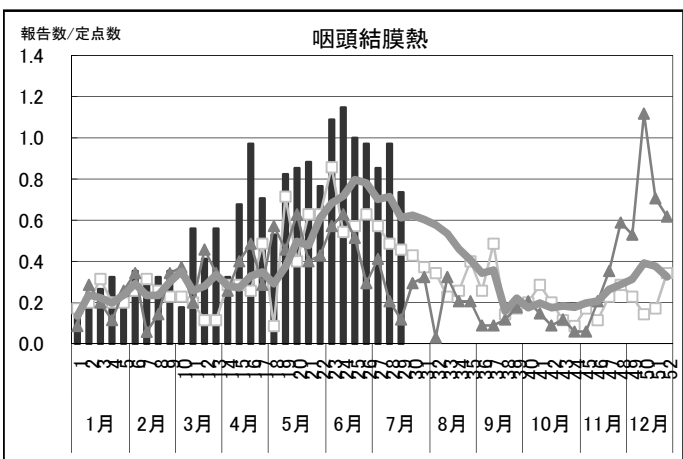
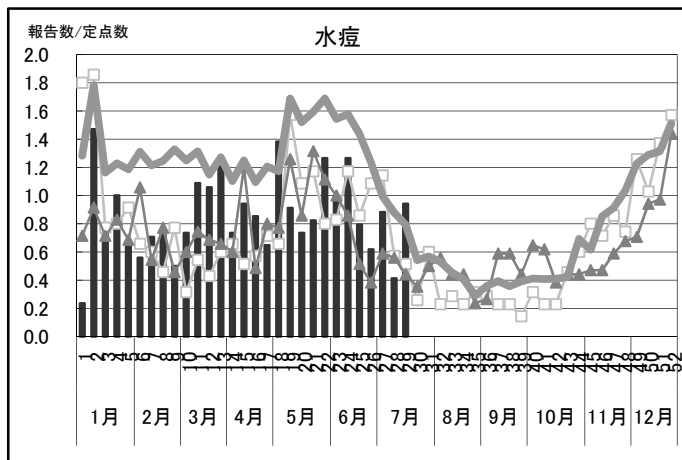
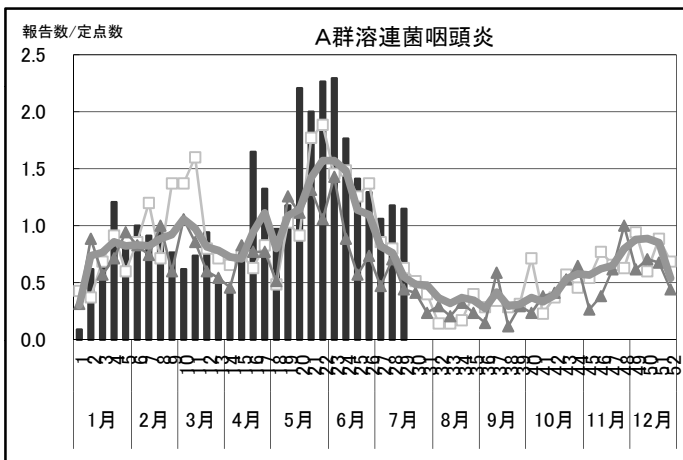
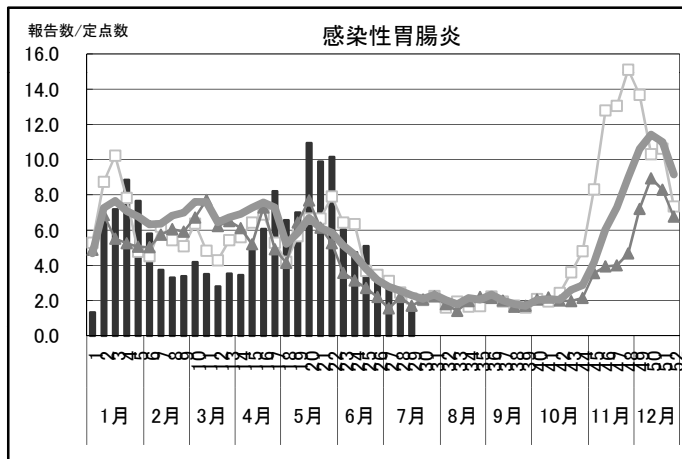
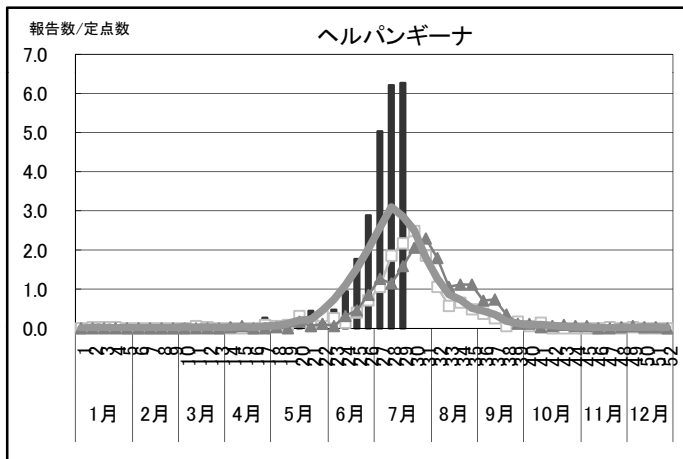
上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計	累計	
インフルエンザ	男																					5965	
	女																					5982	
RSウイルス感染症	男			1																		1	134
	女																					14	326
咽頭結膜熱	男		1	2		3	5	2	1													11	271
	女			1	3	1	2	2					2									23	580
A群溶連菌咽頭炎	男			1	1	3	5	2	2	2	2	1	4									16	533
	女						1	3	1	5		1	4		1							30	2738
感染性胃腸炎	男	1	3	6	1	1		3	1	2			3	3	6							27	2550
	女	1		4	3			1	3			2		2	11							12	445
水痘	男			2	2	3	3			2												20	405
	女			1	5	4	5	3				1	1									5	54
手足口病	男			4																		1	43
	女			1																			31
伝染性紅斑	男																					10	171
	女			3	6	1																5	129
突発性発しん	男																						1
	女																						117
ヘルパンギーナ	男		5	18	23	29	17	11	9	2		1	1		1							96	402
	女		3	21	20	16	13	11	4	4	1	2	1									4	53
流行性耳下腺炎	男				1			1	2													4	46
	女							2	1						1							4	46
急性出血性結膜炎	男																						
	女																					1	49
流行性角結膜炎	男																1					2	59
	女																						
細菌性髄膜炎	男																						4
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						5
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						1
	女																						2
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						18
	女																						18

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 — 過去10年平均



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 6 月

	地域						年齢														合計	累計					
	奈良県	北部		中部		南部		0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59			60-64	65-69	70-		
性感染症定点数	9	3	2	2	2	0	0	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計		
性器クラミジア感染症	9 (1.00)	1 (0.33)	3 (1.50)	3 (1.50)	2 (1.00)	男				1			1	1	2	1	1					7	29		
性器ヘルペス	5 (0.56)		1 (0.50)	1 (0.50)	3 (1.50)	男								1	1			1				1	10		
尖圭コンジローマ	7 (0.78)	2 (0.67)	3 (1.50)	1 (0.50)	1 (0.50)	男				1	1	1	2							1		6	9		
淋菌感染症	4 (0.44)	2 (0.67)	2 (1.00)			男				1	1		1		1							4	25		
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計		
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	26 (4.33)	13 (13.00)	8 (4.00)	3 (3.00)	2 (2.00)	男	2				1	1					1	2	1		1	9	18	106	
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	21 (3.50)		8 (4.00)	7 (7.00)	5 (5.00)	1 (1.00)	...	男	3	2							1							6	8	58	
薬剤耐性緑膿菌感染症	4 (0.67)		4 (2.00)			男																1	1	2	4
薬剤耐性アシネトバクター感染症						男																2	2	2	
						女																2	2	2	

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24

